



ダイオキシン類専用採取フィルタ

取り扱い説明書

取り扱い説明書は弊社 HP よりダウンロードできます
http://www.miuraz.co.jp/e_science/doc/index.html

三浦工業株式会社
三浦環境科学研究所

ダイオアナフィルタをお買い上げいただきありがとうございます。この製品を安全に正しくご使用いただくため、お使いになる前にこの取り扱い説明書をお読みになり、十分にご理解ください。

使用上の注意

- ダイオアナフィルタは、排ガス試料中のダイオキシン類を採取するためのものです。これ以外の用途に本製品を使用しないでください。
- ダイオキシン類の採取には、ダイオアナフィルタ専用の器具をご使用ください。
- ダイオアナフィルタの取扱いは、ダイオキシン類に汚染されていない手袋、マスク等を着用した上で行ってください。
- 強い力を加えるとダイオアナフィルタが破損する恐れがあります。取り扱いにはご注意ください。
- 開栓後はダイオアナフィルタへのほこりや汚れ等の付着を避け、すみやかにご使用ください。
- 開栓後はダイオアナフィルタの汚染および損傷については一切の責任を負いません。
- 高温、多湿を避けて保管してください。
- 廃棄する場合は「廃棄物の処理および清掃に関する法律」に従って廃棄してください。
- その他、ご不明な点については下記までお問い合わせください。

お問い合わせ先

三浦工業株式会社 三浦環境科学研究所
愛媛県松山市北条辻 864-1 〒799-2430
TEL:089- 960-2350 FAX:089-960-2351

ダイオアナフィルタ使用条件

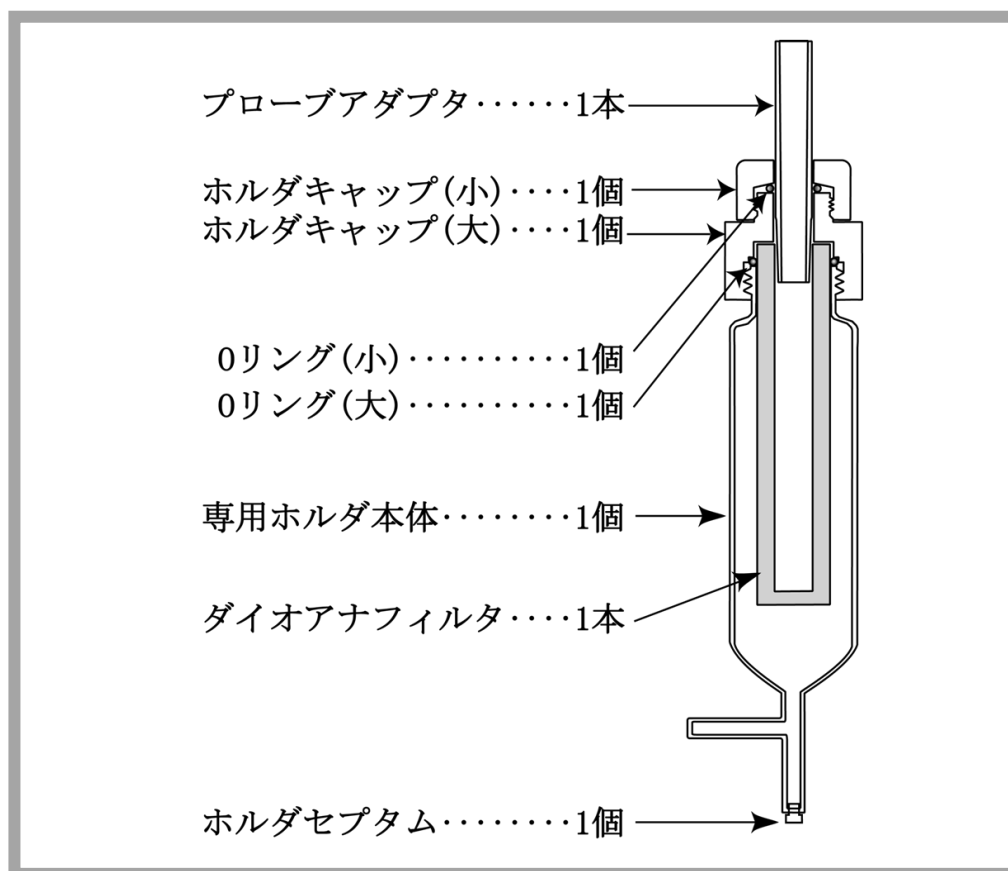
項目	使用条件	注意事項
捕集部温度	水分が凝縮しない温度から120℃の範囲	120℃を超えるとダイオキシン類の二次生成、分解の可能性がある。 採取開始前にフィルタ捕集部及び吸着捕集部を予熱し、採取開始時に吸着捕集部に生じる結露を最小限にする。 採取中はダイオアナフィルタ通過直後のガス温度をモニターし120℃以下であること及びダイオアナフィルタの直前で水分が凝縮していないことを確認する。
ダスト	円筒ろ紙等を前段に接続しダストを捕集する	
サンプリングスパイク		添加位置はダイオアナフィルタ開口部から2cmより下側の内面に添加し、穏やかに溶媒を揮散させてから使用する。 添加溶媒はアセトンまたはヘキサンを使用し、添加量は200μl以下とする。

ダイオアナフィルタ適用範囲

項目	適用範囲	注意事項
対象ガス	一般／産業廃棄物焼却炉排ガス	
対象物質	ダイオキシン類(PCDDs, PCDFs, DL-PCBs)	
水分量	36%以下	
平均実測CO濃度	670ppm以下	
通過流量	330-wet/min at 120℃以下	ダイオアナフィルタを120℃に保温した場合の捕集部の通過流量 例えば、水分30%、乾式メータ温度30℃のときは、ガスメータにおいて約180-dry/minになる。
採取量	3.8 m ³ N-dry 以下	

- ※ 上記条件の範囲外では使用できないことを確認した結果ではありません。
- ※ ダイオアナフィルタに関する妥当性確認試験結果に関しては、弊社 Technical Report をご参照ください(http://www.miuraz.co.jp/e_science/doc/index.html)。

ダイオアナフィルタ部品名称



ダイオアナフィルタの仕様

材質	繊維状アルミナ系
寸法 (mm)	φ 18.8×110L
圧力損失 [kPa(mmH ₂ O)] ¹⁾	<2(200)
ダイオキシン類含有量 (ng-TEQ) ²⁾	<0.002

1) 圧力損失:通気速度 30ℓ/min(120℃空気)のときの値

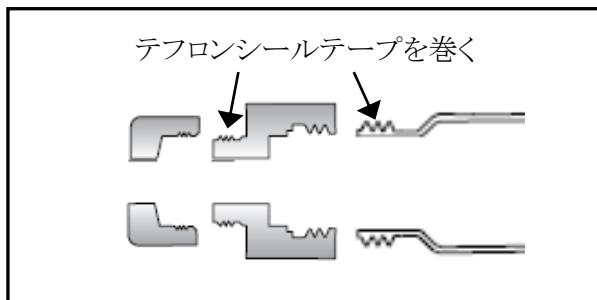
2) 排ガス中のダイオキシン類の測定方法 JIS K 0311:2008 による

ダイオアナフィルタ取り付け方法

1. ホルダキャップ(アルミ製) ねじ部分の保護

ホルダキャップ(大)および専用ホルダ本体のねじ部分にテフロンシールテープを巻き、保護を行ってください。

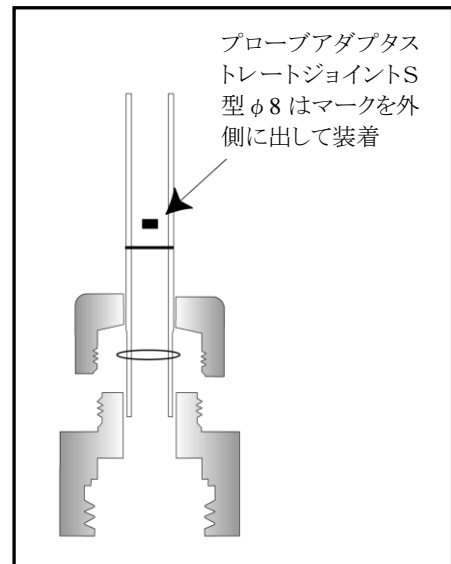
※ ホルダキャップはアルミ製です。異物のかみ込みや無理な力が加わることがないようにしてください。ねじ部の変形によりホルダキャップが外れなくなる事があります。



2. ホルダキャップ組み立て

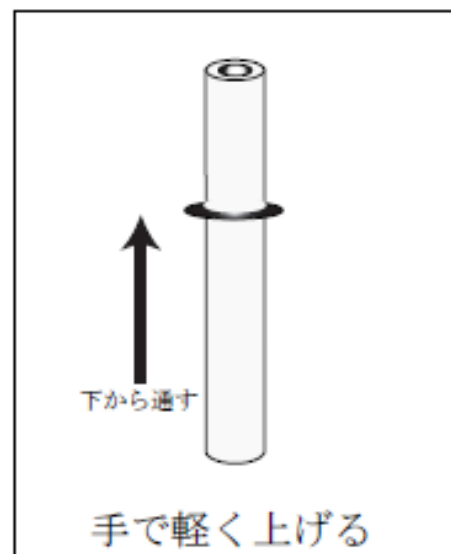
ホルダキャップ(小)にプローブアダプタを通しOリング(小)を取り付けてください。ホルダキャップ(小)上部からプローブアダプタに着いているラインまで出した状態でキャップの大と小を締め付けてください。

プローブアダプタの位置を再調整したい場合、キャップ(大・小)を緩めてから行ってください。



3. ダイオアナフィルタ組み立て

右図の要領でダイオアナフィルタにOリング(大)をあらかじめ通してください。Oリング(大)は必ず下部(口が塞がっている方)から通してください。また、外す場合は下部から抜いてください。



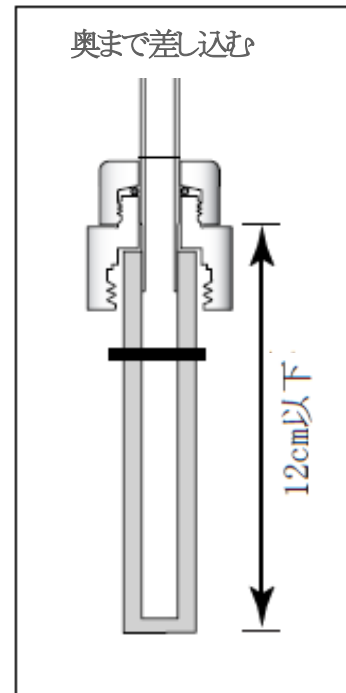
4. ダイオアナフィルタ取り付け

2. で組み立てたホルダキャップにOリングを通したダイオアナフィルタを回転させながらホルダキャップの底に当たるまで差し込んでください。



ホルダキャップ(大)の上面からダイオアナフィルタの先端までの長さが12cm 以下であることを確認してください。

※ ガラス器具ですので取扱いには十分にご注意ください。



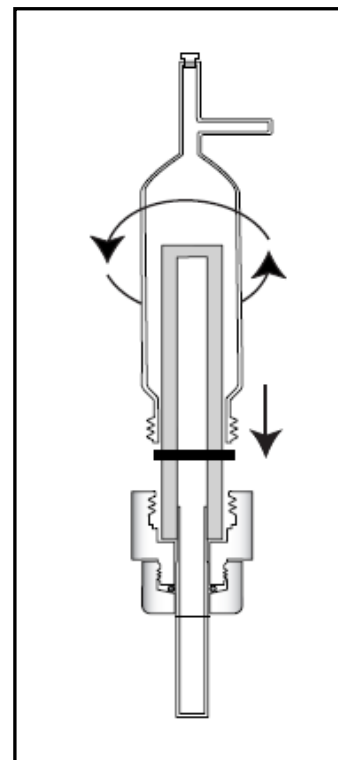
5. 専用ホルダ組み立て

ホルダキャップを下側にして垂直に立て、ホルダキャップの溝に沿って専用ホルダ本体をゆっくり回しながら締めてください。専用ホルダ本体がホルダキャップの底に当たるのを感じるまで強く締めてください。

6. ホルダセプタムの取り付け

ダイオアナフィルタの延長線上にある吸引用ノズルにホルダセプタムを取り付けてください。

※ ホルダセプタムは温度センサを差し込むためのものです。



7. 確認と注意事項

ダイオアナフィルタ取り付け状態の確認

専用ホルダの組み立てを完了したのち、次の確認を行ってください。また、専用フォルダを組み立てた状態で輸送した場合は、使用前に再度確認を行ってください。

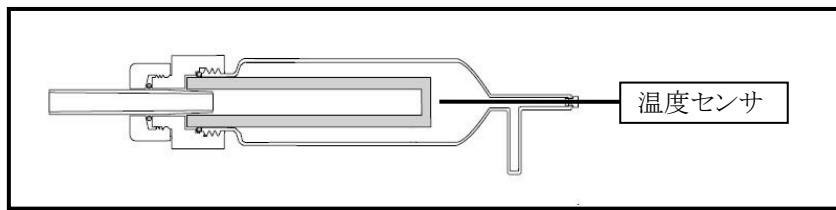
- ・ホルダキャップ(大・小)がしっかりと締まっている。
- ・ホルダキャップ(大)上面からダイオアナフィルタ先端までが12cm以内である。
- ・ダイオアナフィルタが専用ホルダに接触していない。

試料採取前の確認

試料採取を開始する前に必ずリークチェックを行ってください。リークがある場合ホース類、ホルダセプタム、ホルダキャップ等を確認してください。

温度測定位置の注意事項

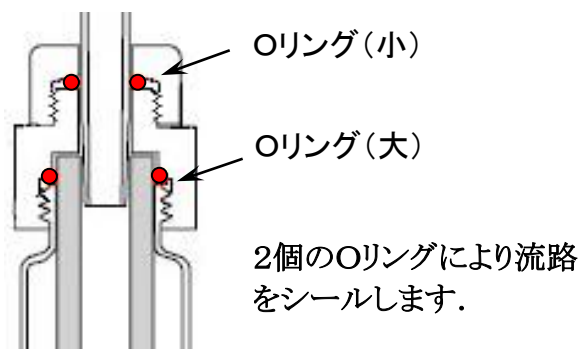
温度センサをダイオアナフィルタの直近まで挿入し、排ガス温度を測定してください。枝管内では排ガス温度の低下がおりやすいため、温度測定は行なわないでください。

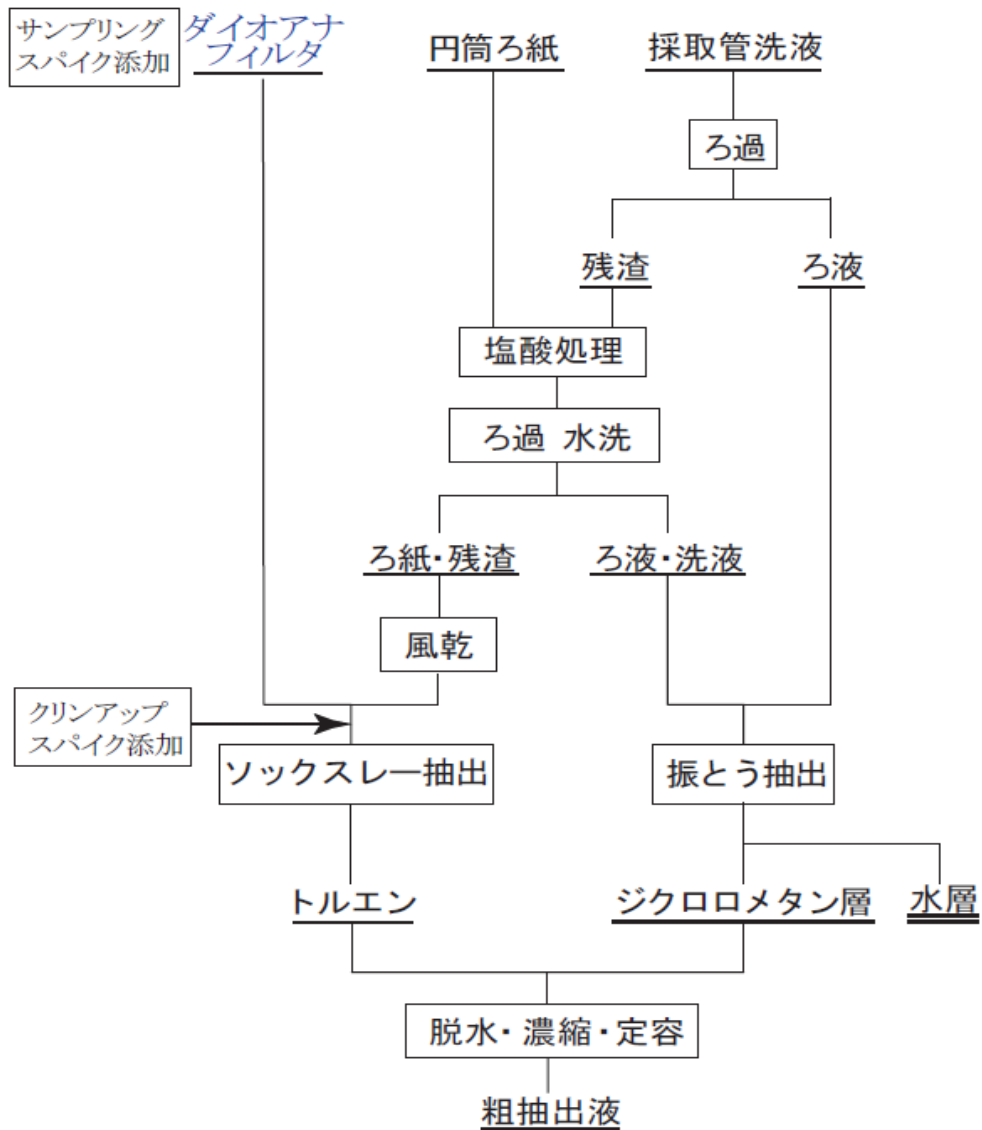


Oリング定期交換のお願い

Oリングのキズ、硬化などの異常はダイオアナフィルタの固定不良や漏れの原因になります。Oリングに異常が無い場合でも、定期的な交換によるトラブル防止をお願いします。

ホルダOリングセット(X001-000-0241-4)





高速溶媒抽出の条件（例）

抽出溶媒	トルエン
温度	150 °C
圧力	13.8 MPa (2000 psi)
加熱時間	7分
静置時間	2分
フラッシュ容量	70 %
パージ時間	60秒
静置サイクル数	5回
繰り返し	2回